



「導入・運用で出逢う5つの不安や疑問」と「運用 していて思うこと」

2013/07/13 第3回九州 Libreoffice 勉強会

▼ JA 福岡市:渡辺

LibreOffice 標準オフィスソフトとして利用中

LibreOffice の運用開始から約 1 年半、運用台数 410 台

この資料は LibreOffice の導入・運用で出遭うであろう 5 つの事例に対する考えをまとめたものです。

ご注意:担当者(渡辺)個人の見解であり、JA 福岡市の見解ではございません。

サポート無しで大丈夫？

1.LibreOffice 等の OSS は商用ソフトのようなサポート体制がありません、十分な運用保守ができるか？運用保守のコストが増加しないか？不安です。

- ▼ 現在、ソフトメーカーからどのようなサポートをどの程度受けているのか？によって違います
 - ▼ Office アップデート以外のサポート？
 - ▼ メーカーサポートが無くて困ったこと……
 - ▼ ヘルプデスク外注という手段もあり
 - ▼ WEB 情報（HP やフォーラム）と書籍で！
 - ▼ 十分な運用保守は各ユーザー毎に定義が違う
 - ▼ 漠然と不安視するよりコスト増の可能性に事前対処するが吉
 - ▼ そのコストは OSS にだけ発生する？

専門の技術者が居ないから・・・

2.OSS は導入ユーザー側の自己責任なので、OSS に関する知識を持つ技術者やサポート要員が十分確保できていない場合、運用は難しいのでは?と考えています。

- ▼ 「OSS はユーザーの自己責任であり、メーカー製はメーカー責任」という定義は本当?
- ▼ ソフト選びは全て自己責任
- ▼ 技術者なんてそうそう確保できるもんじゃない
- ▼ 専門家が居ない・専門部署がないからこそ!
- ▼ 自前で専門家を確保できない場合に困る事って?
- ▼ 導入前に動作確認しますよね?
- ▼ 要員確保してまで修正しなければならない不具合って?
- ▼ 今のメーカーサポートと何が違うのか考えてみて!

SI ベンダーロックインになるんじゃないの？

3. 導入実績のある SI ベンダーが少ないため、製品ベンダー・ロックインは回避できたとしても、今度は SI ベンダー・ロックインになってしまう危険性があるのではないか？

▼ 事前計画をしっかりとすれば SI ベンダーなしも十分可能

- ▼ ベンダーサポートを受ける方が無駄が無い
- ▼ Office ソフトってベンダーサポートがなくなったら運用できない？
- ▼ メーカーにもベンダーにも左右されてた状態が変わるなら・・・

ITシステムにおける真のコスト削減って意味わかってる？

4.ITにおける真のコスト削減とは、ITシステムの運用効率や利用度を高めることによる、小コスト投下での、より大きな価値回収という仕組みを構築することにある。「安物買いの銭失い」となっては意味がない。

- ▼ 「上物買い」であれば真のコスト削減が実現できる保証など何処にもない。
 - ▼ 直接費用削減だから効果が無いわけではない
 - ▼ コストの有効活用も価値回収手段構築の一つ!
 - ▼ ITシステムというより Office ソフトは文房具
 - ▼ 必要と判断すれば必要なソフトに入れ替える選択も可能

プロジェクト廃止=ソフト供給停止って不安

5. 該当 OSS プロジェクトが廃止された場合、ソフト供給が無くなるので利用するのに不安があります。

▼ ソフトの供給停止というリスクは OSS に限った問題ではなく、全てのソフトウェアに発生する共通リスク。

- ▼ 現在のソフトが将来なくならない保証など無い
- ▼ メーカー独自のファイル形式を利用している方が不安になる
- ▼ LibreOffice は ODF を編集するツールの1つ
- ▼ ODF 形式であればソフト継続も問題ナシ
- ▼ LibreOffice & ApacheOpenOffice で ODF_Office の冗長化が実現

LibreOffice 運用して思うこと

続いて LibreOffice の運用中に思った事です

リビジョンアップとバージョンアップがスムーズになれば

1. 企業でバージョンアップする際に一番効率が良い方法が公開されると助かると思う。

- ▼ ソフトのバージョンアップを迅速に正確に管理の手間を掛けずに実行する方法はないものか？
 - ▼ リビジョンアップは差分で、バージョンアップもワンクリックで終わるようなファイルを配布できないか？
 - ▼ ネットワークを利用した自動インストール方法なども公開されれば良いのでは？
 - ▼ お手頃価格でバージョンアップをサポートしてくれるところがあれば・・・

新バージョンに不具合はつきものなのですが・・・

2.旧バージョンで動作確認済の事項が新バージョンではエラーになるような事態は困ると思う。

- ▼ 新機能の不具合ならまだしも、旧バージョンで正常動作していた機能に不具合が出るのは大問題
 - ▼ いままでできていたことが出来なくなる事態は避けてほしい
(主に BASE で多いような・・・)
 - ▼ 安定度に注力した LTS: (Long Term Support) 版 (LibreOffice-LTS (仮題))
なども検討してほしい

トラブルが出ない Java は？

3.Java を入れなくても動作するようにできないの?って思う

- ▼ 動作確認がとれた Java のバージョンがハッキリしていないので困る
(どの Java を導入すべきか判断に迷う)
- ▼ Java のバージョン管理が面倒
(最新の Java だと動作しない可能性がある)

サポート企業や個人の情報が一覧できれば

4. 何処に何をどのように依頼すれば良いのか？が判らないと行動できないと思うし、依頼内容によってどの程度の費用が必要なのか？の見当がつかないと連絡できないと思う

- ▼ 導入サポートをおこなっている企業や個人サポーターを紹介するサイトを構築する(もちろんサポート形態(有償・無償)問いません!)
- ▼ 概算費用が判らないので連絡するにも腰が引けてしまう
- ▼ 業者の素性が判らない場合、連絡しようにも躊躇してしまう

機能判断する情報が不足している

5.知りたいのは、Excel・Wordではできるのに機能不足で実現不可能な事例だと思う

▼「機能不足で実現できないこと」の把握が最優先

▼「出来ない機能一覧」があれば採用判断しやすい(囲み文字・均等割り付け等)

▼機能はあるのだがバグによって処理できない事項一覧(4.0系ではCalcで1行目の見出し行設定が保存できない等)

(未解決バグが運用上の問題となるのかもしれないのか?の判断を、未解決バグ探しからはじめなければならないのは負担が大きい)

▼どのバージョンを導入すればよいのか判断に迷う

普及には経営トップ層への情報提供が必要

6. 企業普及に必要な事は「システム担当者の熱意よりも経営トップからの働きかけである」と思う

- ▼ 経営者目線でとらえた導入効果を経営トップ層の目に留まるように公開する
 - ▼ 「経営者層が目を通すメディア」へのアピール戦略が必要なのでは？
経営者層が購読する雑誌など
 - ▼ ODF を採用している企業や法人の一覧を公開する：ODF の導入浸透状況を可視化できる
 - ▼ パソコン入門誌・活用誌などに連載されている各種 Ms-Office 講座に Calc・Writer 版を追加する
 - ▼ 勉強会や導入・移行・活用等、目的を絞ったワークショップを定期的 to 開催する

最後に……

7.現場がほしいと思う機能は決して多機能な事ではないと思う

- ▼ ソフトを利用している現場が必要な機能とは、自分達の身の丈に合った機能が不足なく装備されている事
 - ▼ 3.4系→3.5系→3.6系と機能充実が図られ、通常利用する機能については4.0系で十分と判断
 - ▼ 「予定のない新機能より」も「気の利いた機能」を求ム
 - ▼ 雲の上のような状況を想定されましても……



Thank you ...

▼ ご清聴ありがとうございました!



All text and image content in this document is licensed under the [Creative Commons Attribution-Share Alike 3.0 License](#) (unless otherwise specified). "LibreOffice" and "The Document Foundation" are registered trademarks. Their respective logos and icons are subject to international copyright laws. The use of these therefore is subject to the [trademark policy](#).